



あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

団体名 大分市大南地区文化財同好会
代表者名 会長 西 哲弘
所在地 大分市大字中戸次 4491-2
(大分市大南公民館内)
電話 097-597-0259
担当者 
担当者連絡先 

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 大南地区文化財等保存及び継承事業
2. 事業の概要 大南地区では、多くの歴史や文化財・史跡・民俗資料・名勝等があり、これらを調査研究し、地域住民や地区外からの来訪者を対象に、講演会や史跡等の案内、機関誌「落穂」の発刊、文化財の清掃作業等に取り組み、先人たちが残した貴重な文化財の維持、保存を図るとともに若い世代や次世代に調査資料等を引き継ぎ、故郷を愛する精神を育て、地域の活性化に繋げる。
3. 事業費 290,000円
4. 交付申請額 170,000円
5. 概算交付 概算交付を希望する。
概算交付を希望しない。
※注意 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。
6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) おおいたしだいなんち くぶんかざいどうこうかい 大分市大南地区文化財同好会			
住所	〒879-7761 大分市大字中戸次4491-2 (大分市大南公民館内)			
代表者氏名	(ふりがな) にし てつひろ 西 哲弘	FAX (団体)	097-597-6605	
電話 (団体)	097-597-0259		E-mail (団体)	
設立年月日	昭和39年6月1日	ホームページ	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	団体構成員数 44人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	6	その他の分野	2・3・4
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所	[REDACTED]		
	氏名	[REDACTED]	FAX	[REDACTED]
	電話	[REDACTED]	E-mail	[REDACTED]
主な活動地域	<input type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input checked="" type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野			
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	大南地区内の文化財・史跡・民俗資料・名勝等の調査・研究を行い、講演会や広報活動により、小中高生や地域住民及び大分市民に情報発信することで、それら貴重な文化遺産を若い世代に受け渡し、青少年に夢を与えると同時に、文化財等を保存・継承することを目的に事業を展開している。			
これまでの 主な活動実績	年度	事業名	実施回数	参加者数
	令和 3	「落穂」第87号の編集発刊、講演会、史跡調査、県内外者史跡案内等	20回	521名
	令和 4	「落穂」第88号の編集発刊、講演会、史跡調査、県内外者史跡案内等	21回	523名
	令和 5	「落穂」第89号の編集発刊、講演会、史跡調査、来訪者史跡案内、郷土学習等	23回	1,615名
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助(委託)元	補助事業名	金額
	令和 3	大分市	1%応援事業	170,000円
	令和 4	大分市	1%応援事業	170,000円
	令和 5	大分市	1%応援事業	170,000円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施 予定回数 (延べ)	予 算 額 (千円)
1%応援事業補助対象 事業を記載 大南地区 文化財等保存 及び継承事業	地域・市民を対象 に地域の歴史を 学ぶ勉強会・体験 学習の開催	5月 ～ 2月	大南公民館 小・中学校	288人 (18人×16回)	16	20
	ウォーキング大 会及び観光客等 の現地説明案内	通 年	大南地区内 の史跡	200人 (50人×4校区)	4	20
	機関誌「落穂」90 号発刊 及び「双 六」2校区分作成	5月、9月 12月、3月	大南市民センター 戸次地区小・中 竹中地区小・中	628人 (落穂48人) (双六580人)	6 (総会) (各学校5校)	210
	史跡等清掃・草刈 り整備、資料保存	6月 10月	鶴賀城他	16人	2	20
	合戦まつりの開 催時、来訪者に 「戸次川の合戦」 の史実等の説明	11月の 第2土曜日	大野川合戦 まつり会場	320人 (来場者)	1 (随時対応)	10
	慰霊祭	12月12日	山崎台	30人	1	10
小計					30 (a)	290 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者 の予定人数 (延べ)	実施 予定回数 (延べ)	予算額 (千円)
会員研修 交流事業	総会や研修等で 会員の相互研鑽 を図る	6月、9月	大南市民 センター、 大南公民館	62人	2	20
小計					2 (b)	20 (d)

合計	(a) + (b) 32	(c) + (d) 310
----	-----------------	------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b) 94% (A)	(c) / (c) + (d) 94% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 × 100 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	94%	

事業計画書

事業の名称	大南地区文化財等保存及び継承事業	
事業内容	主な対象者	大南地区内外の大分市民、国立国会図書館、県立図書館、市民図書館
	内容	<p>○大南地区内の文化財・史跡・民俗資料・名勝等を調査・研究し、それを機関誌「落穂90号」に掲載して、情報を発信する。</p> <p>○市内外から訪れた方々を対象に、史跡等の案内を年間通じて行う。</p> <p>○小中高生や会員等に講演や研修会を実施、また、小学生向けの史跡めぐり双六や大南かるた等を作成し、活用してもらうことで、若い世代に引き継ぎ青少年に夢を与えると同時に、文化財を保存・継承することを目的に事業を展開している。</p>
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月)	内容
	5月	令和6年度役員会①、「落穂90号」編集部会①、調査部会①
	〃	仮称「大南かるた」・「竹中史跡双六」編集会議
	6月	令和6年度総会・研修会
	〃	鶴賀城跡の清掃、草刈り活動
	8月	役員会②及び機関誌「落穂90号」編集部会②
	10月	大南公民館主催の大南地区の小学生を対象にした体験学習や行事の一環として、歴史学習を実施予定
	11月	役員会③、調査部会②、「竹中史跡双六」発刊
	〃	鶴賀城・鏡城跡・合戦まつり会場等の清掃、草刈り活動
	〃	大野川合戦まつりでの「戸次川の合戦」のガイダンス
	〃	令和6年度秋季研修会、機関誌「落穂90号」発行
	12月	機関誌「落穂91号」編集会議①
	〃	仮称「大南歴史かるた」編集会議
	2月	役員会④、仮称「大南歴史かるた」編集会議
	3月	機関誌「落穂91号」編集会議②、「戸次史跡双六」編集会議
		※年間を通じて 会員による文化財・史跡の現地調査及び保存等を行う。 市内外からの観光客を対象に、史跡巡りの案内や説明を行う。
広報計画・方法	<input type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> チラシ、広報誌 <input type="checkbox"/> Facebook等のSNS <input type="checkbox"/> その他(具体的に) 機関誌「落穂」を会員・関係機関への配付。新聞での情報発信。 大野川合戦まつりでのガイダンス時の広報。来訪者へのチラシ配布。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み	大南公民館で実施している歴史関連教室や史跡めぐりの来訪者等に対して、会員になっていただくよう、積極的に勧誘する。また、各種イベントでも、勧誘する。	
見込まれる効果	①大南地区内の文化財・史跡・民俗資料・名勝等を調査研究し、機関誌「落穂」に記録することにより、後世に継承することができる。 ②地域住民に文化財等の保護の大切さを啓発することができる。 ③小中学生に地域の文化財等の大切さを教え、郷土愛を育てることができる。 ④市内外の来訪者に史跡等の案内をすることにより、地域の活性化に繋げる。	
新規事業・継続事業の別	※ 申請事業について、該当する□にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 <input checked="" type="checkbox"/> ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業の名称： 大南地区文化財等保存及び継承事業

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	170,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	90,000	45人分
事業収入	30,000	「落穂」販売
その他	0	
合 計	290,000	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	20,000	講師謝金 (県内2名)
旅 費		
消 耗 品 費	10,000	コピー用紙、文具類、清掃道具他
燃 料 費	10,000	草刈り機の部品費・燃料費 (史跡周辺整備)
食 糧 費	10,000	草刈り業務・秋季研修会等のお茶代
印 刷 製 本 費	230,000	「落穂90号」発刊、(仮称)「大南歴史かるた」制作、竹中版、戸次版「史跡巡り双六」制作等
通 信 運 搬 費	10,000	総会や研修会案内の切手・ハガキ代
広 告 料		
保 険 料		
手数料・委託費		
使用料・賃借料		
原 材 料 費		
備 品 購 入 費		
合 計	290,000	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。